

超薄 たたら皿に挑戦！(2003年7月号)

薄いものを作りたいとのご要望にお答えして、激薄のたたら皿に挑戦してみましょう。たたらを薄くすると、怖いのは切り口のひび割れです。これを防ぐために、紙(ここではトイレトペーパー)を練りこみます。紙の繊維により、土の割れを相当防ぐことが出来ます。紙を練りこむというやりかたは、他にも大皿を作る際にも口の割れを防ぐのに役に立ちます。また、焼きあがると、紙は燃えてなくなるため、多少軽くなります。
薄いお皿を作ると、当然強度は弱いですが、挑戦してみましょう。

①



800グラムの土を少し広げ、紙をその上に載せます。トレペ(ダブル)なら、2重にして、湿らせたスポンジで、表面をたたきます。

②



土の表面に紙がぴったりはりついたら、紙の余っている周辺部分を切り離し、土を内側に内側にたたみ込むようにして練ります。これを5回繰り返します。

③



紙の固まりがなくなるまで十分に練ったら、150グラムほどとり、板の上に片栗粉をまぶして、少し広げます。その後、広げた土の裏にも片栗粉をまぶします。

④



3ミリのタタラ板をおいて、のし棒で延ばします。常に中心から外に延ばしてください。板の方向を変え丸くなるようにのばします。(紙が入っているので、スライスはできません)

⑤



型(スチロール中)に合わせて、切り、また片栗粉をまぶして、かぶせ、やさしく丸みをつけます。名前を入れ、型からはずして新聞紙の上にそっと置きます。